

榎若勸二郎と北海道の旅

ミニ・ディナーショー

長
月
の
宴

ごあいさつ

日本舞踊榎若流

宗家榎 若 勸二郎

木々にも秋色濃く平成八年も早や暮れようとしております

本日は皆様 遠路わざわざわたしのディナーショーにお越しを賜りまして厚く御礼を申し上げます 今回は夕食をはさみ三時間の私のショーとして本来の舞踊はもとより歌と勸二郎のすべてをご覧頂きます 日頃私を支えて下さる皆様をはじめ今日の催しの為ディナーショー作りにご支援下さった地方・鳴物スタッフ御連中様には心より御礼を申し上げます

各位様には私の身内も同然で私を長年に亘り愛し育て上げて下さった方々ばかりです

そして榎若一門の門人と私が毎月舞踊の講習をしております日本津々浦々北は北海道から南は九州の地より御参集下さった会員の皆様にも心より御礼を申し上げます

此度の公演は皆々様の御期待に添えますよう懸命に舞台を勤め必ずや皆様のご満足を賜りますよう又ディナーショーの名に恥じぬよう榎若の名声を益々高める所存でございます

本日のご観覧改めまして有難う存じました

平成八年十一月二十七日

企画・制作にあたって

榎 若 勅 助

湯の町 下呂温泉「水明館」は私どもが再三お世話になっております名湯ホテルであります

今回は水明館さんの全面的なご協力を賜り新装の能舞台とコンベンションホールとを使い榎若勅二郎の至芸をお見せする事が私の夢でありました。今年の始めこの施設なら充分本人を生かせる場所と決めました。

すでに過去四回ディナーショーを伊豆修善寺の「あさば旅館」を全館貸切で能舞台と浮舞台を使つての公演以後 稲取温泉「銀水荘」 仙台松島の「大観荘」 博多の「西鉄グランドホテル」と四公演共大盛況のうち大成功を納めてまいりました。いろいろな角度より榎若勅二郎を観てほしいのです。師の教えを乞う事なく独学独歩。今や舞踊界の二十一世紀を担える唯一の大きな存在となった勅二郎の天才舞踊家の誠の姿を：

此度の企画・制作にあたっては皆様に大きな芸そしてそれに命をかけてきた人間勅二郎の世界を身近に観て頂き共鳴していただくよう内容を充実させました。心・技・体を大きく開花させた勅二郎舞踊の真髄を心ゆくまでご堪能下さい

企画・制作を担当しました私も本日の舞台を楽しみにしている一人で、なたにも負けないほど大の勅二郎ファンであるからです

平成八年十一月二十七日

第一部

大和楽
雪

折竹

立方
碁
若
勸二郎

—お食事タイム—

第二部

一、北の大地に舞う

二、舞姿花色彩

—千穂楽—

心よりありがとうございます一言

「日本舞踊の世界」遠路のなか昼夜を通してご覧頂きまして誠にありがとうございますいました

舞台は如何でしたでしょうか：

光源氏も無事勤める事が出来ましたので今晚は皆様に感謝の気持ちをごめて再度私の舞踊をもって御礼のしるしとさせて頂きたいと存じます

本当にありがとうございます
心より御礼を申し上げます

宗家 榎 若 勸二郎

平成十三年九月十六日（日）

登別プリンスホテル石水亭 石水の間

開場 午後五時三十分・開演 午後六時